

児玉郡市管内における火災の特徴について

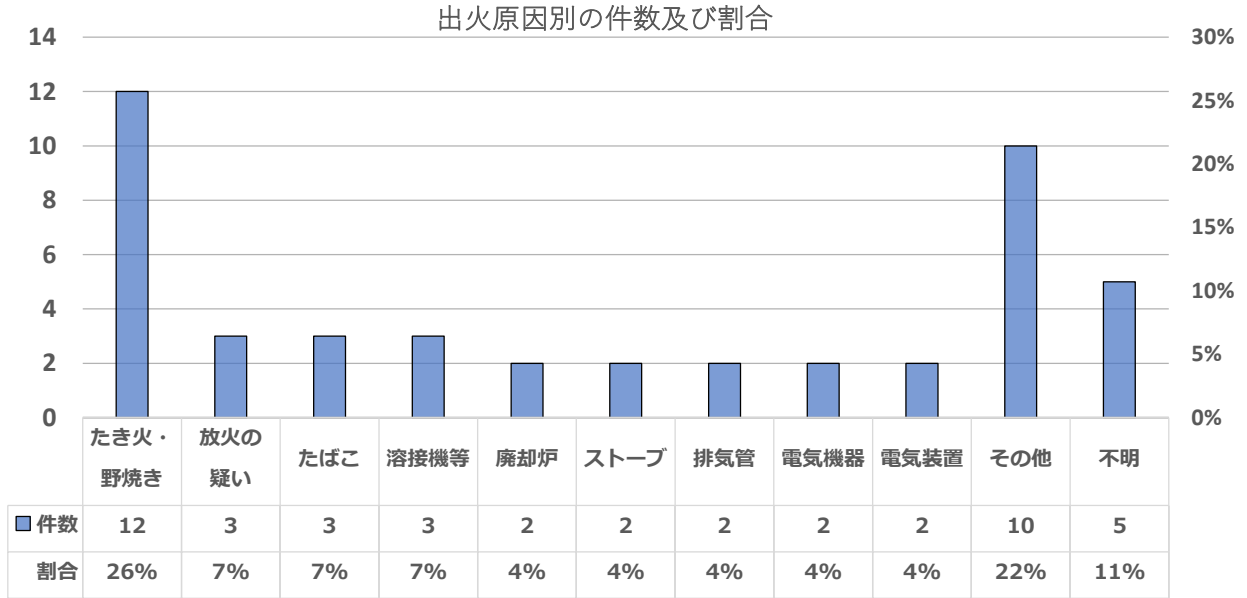
「たき火・野焼き」による火災が急増！！

児玉郡市広域消防本部管内では、令和元年中に46件の火災が発生しています。

その中でも「たき火（野焼き）」による火災が急増。全体の26%（12件）を占めています。

風が強く乾燥した日に、たき火や野焼きが行われ、風にあおられ周囲の可燃物に着火したことや、消火の確認をせずにその場を離れ延焼したことが原因として挙げられます。

伐採屑やごみなどの軽率な焼却行為から火災が発生し、ちょっとした不注意により建物へ燃え移り、大切な財産が失われています！！



過去5年間における出火原因

	全国	児玉郡市管内
1位	放火	たき火
2位	たばこ	放火の疑い
3位	こんろ	こんろ
4位	たき火	放火
5位	放火の疑い	電気機器

令和元年 12件
 平成30年 4件
 平成29年 5件
 平成28年 1件
 平成27年 5件

出火原因の多くは…

46件のうちの約半数は、たき火の放置や製品取扱上の不注意などによって建物に燃え移ってしまったなどの、人為的ミスによるものです。

この人為的ミスは、一人ひとりが細心の注意を払って火気を取り扱えば未然に防ぐことができます。

なお、火災の多い時間帯を見てみると、住民の方が行動する時間帯（9時～18時）が73%と最も火災が発生していて、また、火元責任者の年齢を見てみると、65歳以上の高齢者が全体の52%を占め、高齢者の方が高い割合で火災を発生させてしまっています！！

1週間に約1回の火災が発生

令和元年中に発生した火災46件で、これは1週間に約1回のペースで火災が発生している計算になります。

各市町別にみると、
 本庄市 22件
 上里町 11件
 美里町 8件
 神川町 5件 となっています。

令和元年度における火災による死者及び負傷者

令和元年度における火災による死者は、0人でした。

負傷者は、10人でした。そのうち、たき火による負傷者は3名です。